
なくしたもの

石ころ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
なくしたもの

【Nコード】
N5370C

【作者名】
石ころ

【あらすじ】
青年は母親を亡くして、ある日。

母が死んでから一ヶ月が経った。おれは相変わらずバイトを転々としていた。慣れないことが多くどれもあまり長続きしないのだ。父は前よりもいっそう熱心に働くようになり、妹は学生としての勉めと家事を両立させていた。

おれの惨状を知ってか、父は「もうバイトはいいから、家事をやれ」となれば諦めたかのように言ってきた。おれは何も言い返せず了解をした。

ほんのちよつと前までのおれは、親のことを邪魔者とは思っていなかった。暴言をしょつちゅう吐き、時には暴力まで振るった。それがいざいなくなってみるとどうだ。おれは何もできずにただ困っているだけだ。

食事は妹が作ることにしているが、母のものと比べるとあまり出来がよくなかった。おれが文句を言うと、「じゃあ自分で作ったら」と言われてそれ以後、うまくもまずくもない飯を黙々と食っている。

人生は何が起こるかわからないものだ。たとえどれだけ元気でまだ若くあっても、買ひ物の帰り道に交通事故に巻き込まれてあっさり死ぬこともある。

掃除機をかけながら、おれはこれからどうしようかと考えていた。これまで大学を出てから職に就けずぶらぶらしていたが、母がいなくなり残りの家族からの視線がきつくなってくると、おれは焦燥に駆られはじめた。こうして炊事以外の家事をしてはいるが、早めに働き口を見つけないならぬ。若いうちはまだなんとかなっても、歳を取るとどこも引き取ってくれやしないのだ。

掃除機をかけ終わると、おれはすることがなくなった。買ひ物はもう済ませている。テーブルの上には求人誌が置いてあるが、既に全滅だ。空模様は悪く、外に出るといふ気にもならなかった。結局、

おれは細かいところを含めてまた掃除をすることにした。

埃が溜まっていると思われるリビングの壁側のソファをどけたところで、おれはあるものに気がついた。

財布だ。だれのものだろうか、とおれは思考をめぐらして、いつだったか母が財布をなくしたと食事の時に言っていたことがあったのを思い出した。おそらくこれがその財布だろう。

おれは財布についている埃を掃って、中を確認した。金は千円札が数枚に、小銭がいくらかあるだけだった。カードが何枚もあったが、テレフオンカードやスーパーなどの店のポイントカードばかりだった。

「……………」

カードに混ざって、一番後ろのほうに一枚だけ紙があった。レシートかと思っただけ確認してみたら、違うものだった。

肩たたき券。

ずいぶんと下手くそな字で、理解するのに時間がかかった。もう十年近く前のはずだったが、はつきりと思い出せた。ガキの頃、たしかにおれはこんなものを作って母に渡したことがあった。……こんなものをずっと持っていたのか？

おれは嗤った。小さかった頃のおれはなんと幼稚でくだらないことをし、そして無垢だったんだろう。あの頃のおれは素直で、親に対する反抗なんていうものも知らなかった。それがどうだ。おれは甘えて働きもせず、話に耳を貸さず苦勞だけをかけて、そして母にはまともな孝行をできずに別れてしまった。

母が事故に遭ったと聞いた時にも、助からなかったと聞いた時にも、葬式の時にも、これまで虚無感に覆われているだけで悲しみは沸いてこなかったのに、なんでだろう、涙が止まらないのは。

おれはやつと理解した。もう遅いのだ。母は死んでしまった。謝ることも礼を言うこともできない。

母の財布とかつての純真を握りながら、おれはただただ後悔をしていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5370c/>

なくしたもの

2010年12月25日16時49分発行